

2017年7月31日
APTJ株式会社

APTJ株式会社 3回目の第三者割当増資を実施 ～サイバーセキュリティ対応や車載 Ethernet 対応の開発を加速～

【発表内容】

車載制御システム向けのソフトウェアプラットフォーム(広い意味での OS, 以下 SPF)の開発を行う名古屋大学発のベンチャー企業である APTJ 株式会社(所在地:名古屋千種区, 代表取締役会長:高田広章, 代表取締役社長:高嶋博之, 以下 APTJ)は、キヤノン IT ソリューションズ株式会社, 名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャー1号投資事業有限責任組合, 東海東京インベストメント株式会社などを引受先とする第三者割当増資を実施いたしました。また10月には、他の当社株主などを引受先とする第三者割当増資を実施する計画で、このシリーズの第三者割当増資の総額が約10億2000万円になります。その結果、資本金と資本準備金の合計が約20億2000万円になります。

APTJ では、今回の第三者割当増資で調達した資金を活用し、サイバーセキュリティ対応機能や車載 Ethernet 対応機能の開発を進めるなど、AUTOSAR 仕様をベースにした SPF の開発を加速させるとともに、自動車業界が求める高い品質要求にこたえられる SPF 開発を進めてまいります。

また、APTJ では、開発加速のための開発技術者の人員増により、名古屋大学東山キャンパス内の現在の社屋では手狭となったことから、本社を名古屋駅近くに移転することになりました。本社の移転先はささしまライブ 24 地区に本年 3 月に竣工したグローバルゲートで、移転は 8 月末を予定しています。

APTJ では、経営体制強化のために、6月20日開催の臨時株主総会において、キヤノン IT ソリューションズ株式会社 取締役・常務執行役員の竹中一起氏を社外取締役に選任しました。竹中一起氏は、組込みシステムのソフトウェアプラットフォームの技術開発に関する豊富な知識と経験を有しており、APTJ の経営全般に対する助言が期待できるものと考えています。

【APTJ の概要】

APTJ 株式会社 (APTJ) は、名古屋大学の研究開発成果を活用して、車載制御システム向けのソフトウェアプラットフォーム (SPF) の開発・販売を目指す大学発ベンチャー企業です。名古屋大学では、情報学研究科附属組込みシステム研究センター (NCES, センター長:高田広章) において、車載制御システム向けの SPF に関する研究開発を産学連携体制で推進してきました。

車載制御システム向けの SPF の分野においては、欧州を中心に策定されている AUTOSAR 仕様が国際標準として広く活用されつつありますが、AUTOSAR 仕様をベースとした SPF の開発においては海外の有力企業が先行し、シェアを伸ばしています。APTJ は、それに対抗できる国産の SPF を、名古屋大学の研究開発成果を活用

して開発・販売することを目指して、2015年9月に設立した大学発ベンチャー企業です。APTJの代表取締役会長兼CTOには、NCESセンター長／教授の高田広章が就任しています。

APTJが開発するSPFは、最新のAUTOSAR仕様をベースとしつつ、名古屋大学の研究開発成果や知見を活用した先端的な機能や実装技術により、機能安全規格、サイバーセキュリティ対策、マルチコアプロセッサに効率的に対応できることを技術的な特徴とします。このSPFを活用することで、安全で品質の高い車載組込みソフトウェアの開発が効率化され、自動車部品メーカーの競争力向上につながります。

APTJによるSPFの開発は、パートナーソフトウェア企業からの資金面・人材面の協力を得て、自動車部品メーカーおよび自動車メーカーと共同で行います。また、ツール開発やサポート体制構築についても、パートナーソフトウェア企業各社と密接に連携して計画を進めています。SPFの開発には3年程度の期間を見込んでいますが、開発完了した部分から順次ライセンス販売していく計画です。

さらに将来的には、自動運転システム向けのSPF仕様としてAUTOSARが策定中のAUTOSAR Adaptive Platform仕様に基づいたSPFの開発や、セキュリティ対策の強化によりIoTやConnected Vehicleの流れにも対応するなど、車載制御システム向けSPFの分野において、国際的なトップクラス企業に成長させていく計画です。

APTJは、これらの活動を通じて、我が国の車載組込みソフトウェア産業を強化し、さらには自動車産業全体の競争力向上に貢献することを目指しています。

【お問い合わせ先】

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

APTJ株式会社 経営企画部
〒464-0814 名古屋市千種区不老町
名古屋大学 インキュベーション施設
TEL: 052-782-5705 FAX: 052-782-5706
Email: contact@aptj.co.jp

【用語説明】

SPF	ソフトウェアプラットフォーム(Software PlatForm)。計算機システムの中でアプリケーションソフトウェアを実行するための基盤となるソフトウェア。広い意味でのOSのこと。
AUTOSAR	AUTomotive Open System ARchitecture。車載制御システム向けのソフトウェア基盤のグローバルな業界標準を作成する団体。2003年に設立され、欧州を中心に活動。AUTOSAR仕様に基づいたSPFは、すでに欧州の自動車メーカーには広く採用されており、今後、国内の自動車メーカーにおいても採用が広がるものと予想されている。
NCES	名古屋大学大学院情報学研究科附属組込みシステム研究センター(Nagoya university Center for Embedded computing)

	<p>Systems)。産学官連携により、組み込みシステム技術に関する研究開発と人材育成を推進するために 2006 年 4 月に設立。センター長は高田広章。</p>
--	--